

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和2年 11月30日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 12月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>



「だれにとっても」「安心」「居心地のよさ」

校長 藤田 陽子

11月18日に橘中ブロックの小学校4校と橘中学校の児童・生徒の代表が集い、「横浜子ども会議」が行われました。「横浜子ども会議」は、『だれにとっても居心地のよい学校づくり』を目標とし、子どもたちが自分とまわりの人や社会との関係を見つめ、主体的な取組を目指すための会議です。本校からは代表として、6年1組の児童が出席しました。

翌日、私はその児童に「横浜子ども会議」の様子を詳しく聞いてみました。

会議では、「いじめをなくすのはアナタ」というテーマを設定し、あるいじめの一場面を想定していじめを「見ている人」に焦点を当て「見ている人」が自分であったら何ができるかを考え意見を出し合ったそうです。

私は、「会議に出席して、今回強く感じたことは何ですか」と尋ねてみました。するとその児童から「いじめている人にそれをやめるように伝えることは大変で難しいことだけれど、いじめられている人の話を聞き、その内容を否定せず共感することが大切だと思う。そうすることで、苦しんでいる人にとっては味方がいると感じられ、安心できることになるから。」という言葉がかえってきました。このような自分の考えを伝えてくれたときのその児童の真剣で、あたたかい表情がとても印象に残りました。

様々な考え方、感じ方をする人と人とのかかわりや集団生活の中で『だれにとっても居心地のよい』学校や環境をつくっていくことは、言葉で表すほど簡単なことではありません。一方で、いじめや差別は、絶対に許される行動ではありません。その行動に対して「自分は何ができるか」「何をするか」という答えもまた、絶対に正解であるという内容を探すことは難しいことでしょう。そのような難しい模索の中で、『「友だちの思いへの共感」「味方」という行動が苦しい思いをしている友だちの安心につながる』という代表児童の考え方は、『だれにとっても居心地のよい』という学校を目指すための一つのヒントになるのではないのでしょうか。そして、「自分が何をするか」を考え、様々な意見を交流することで皆が安心できる考え方をその学級や学年、そして学校に広げていくことこそが「安心」「居心地のよさ」を感じる環境づくりにつながるのではないかと改めて考えました。

近隣の小中学校の代表者が話し合い、様々な意見を出し合った今回の「横浜子ども会議」のテーマについて、本校では今後、6年生が各学級で話し合う予定です。互いの意見を聞き、他者とは違う自分の考えを見つめるとともに、誰もが安心して生活できる環境づくりへの意欲を高めてほしいと願います。また、12月4日から始まる人権週間に向け、全学年がそれぞれの学年に合わせた人権学習に取り組みます。藤塚小の子どもたちにとっての「安心」「居心地のよさ」を考え、言葉に表し、友だちの考えに耳を傾ける時間を大切にしていきます。